

事業強化に繋がる脱炭素計画作りと目的達成手法 **EcoNiPass**

会社概要

WingArc **1ST**

The Data Empowerment Company

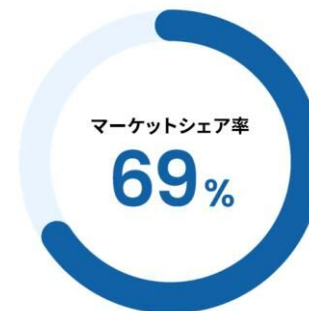
商号	ウイングアーク 1 s t 株式会社 (英文表記: WingArc1st Inc.)
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木三丁目2番1号 六本木グランドタワー
創業	2004年3月
資本金	11億9,981万円 (2024年2月末現在)
事業内容	ソフトウェアおよびサービスの開発・販売
決算期	2月
売上高	257億円 (2024年2月末)
従業員数	連結881人 / 単体776人 (2024年2月末現在)

事業領域

ビジネスドキュメント

データエンパワーメント

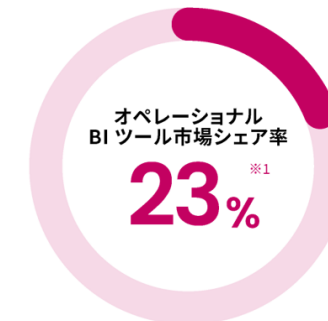
帳票市場国内シェアNo.1



累積導入社数 **35,000社**以上※

出典: 株式会社デロイトトーマツミック経済研究所
「帳票設計・運用製品の競合調査2023年度版」
(帳票運用製品)

BI市場国内シェアNo.1



累積導入社数 **9,700社**以上※

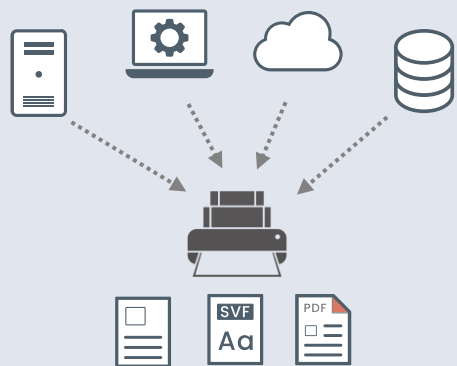
出展: 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2023年
版」BIツール・2022年度実績を基に当社独自に推計

※日経コンピュータ 2023年8月31日号 顧客満足度調査
2023-2024データ分析・利活用支援ソフト/サービス部門 1位

ビジネスドキュメント事業



総合帳票基盤ソリューション



ノンストップ帳票運用
※オンプレミス・クラウド選択可



電子帳票プラットフォーム



電子取引/電子契約

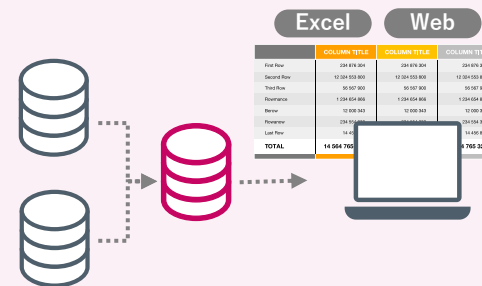


商取引の文書の電子化・効率化
※オンプレミス・クラウド選択可

データエンパワーメント事業



データ分析基盤



分析の思考を止めない高速集計
※オンプレミス・クラウド選択可



BIダッシュボード



見える化からアクションへ
※オンプレミス・クラウド選択可



データプレパレーションを統合した データ分析基盤

dejiren

クラウドサービスを自由に繋ぐチャット型iPaaS（バーチャルアシスタント）

EcoNiPassの特徴と機能

カーボンニュートラル業務(1/4)

EcoNiPassは、CO2排出量可視化プラットフォームです。

削減に向けた**見える化を実現**し、削減に向けた計画立案支援、削減施策の実行までトータルでサポートしていきます。

ヒト・モノ・カネ・情報を包括する形で**環境という軸**を社内で持ち経営判断をしていく必要がある。

現状把握
(見える化)



CO2排出量算定



削減ポテンシャル診断



シナリオ分析・戦略立案

削減計画策定
(わかる化)



ロードマップ策定
削減ポテンシャル診断
管理・削減範囲の決定



排出量見える化
(運用)

実行(排出量削減)
(現場最適化)



調達・機器改善



CO2排出量管理



業務プロセス改善

事業運用
(事業・経営最適化)



請求書・納品書連携や
販売/会計データとの掛け合わせ



会計ソリューション
調達/生産データとの連携

EcoNiPassの特徴

EcoNiPassは**可視化から削減まで一気通貫でカーボンニュートラルの実現を支援**します。
ウイングアーク1st株式会社が、CO2排出量可視化プラットフォームサービス「EcoNiPass」提供し、可視化ができた後はエコパートナーが、削減に向けたコンサルティングや削減ソリューションを用いてご支援します。

データ収集・可視化・認証



CO2排出量の
算出・可視化



サプライチェーン
連携



製品別のCO2排出量
(CFP)の可視化



省エネ法対応



Web API公開予定



認証取得支援



削減コンサル・削減ソリューション

EcoNiPassエコパートナー
カーボンニュートラル削減に
向けのご相談

EcoNiPassパートナーが、CO2排出量の算出/可視化に関するご相談に加え、排出量の削減に向けのご相談を承ります。

多数のEcoNiPassパートナーと連携

②-1 サプライチェーン連携

標準搭載

CO₂排出量の可視化は、**企業価値を示すサプライチェーン排出量**と、**製品価値を示すLCA排出量（カーボンフットプリント）**の2つあります。

サプライチェーン排出量

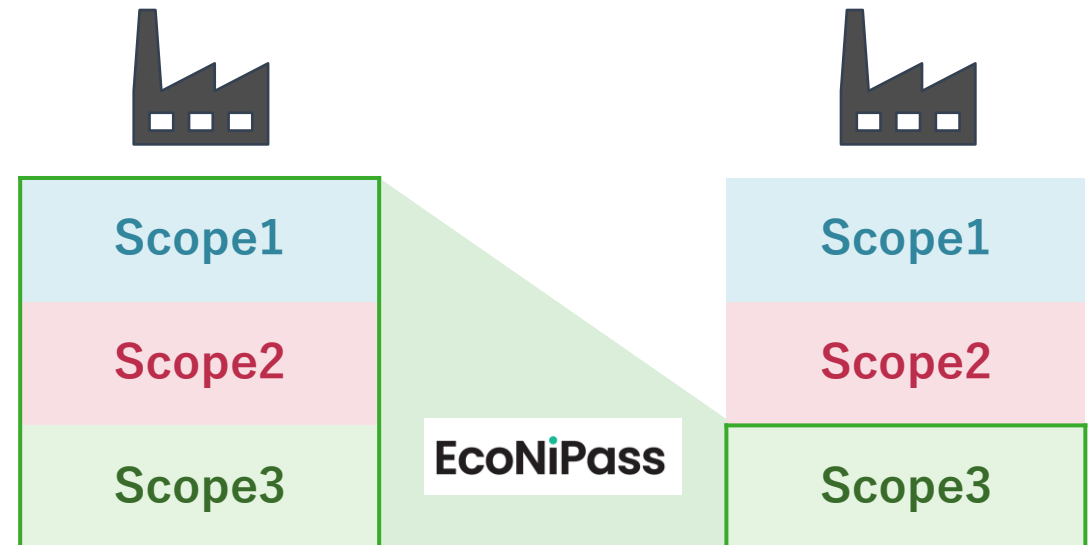
算出範囲	企業の事業活動
算出対象	Scope1,2,3
Scope3 (他社排出量) の算出方法	統計データを用いる (=一企業にて完結)
訴求価値	企業価値 (=機関投資家向け)
想定市場	大手企業のみ (現状:プライム上場企業)

A社向けの活動量を入力することで、自動的にScope3へ連携

例 | B社生産量 10,000個/月、A社向け2,500個/月

サプライヤーB社 (A社へ部品納入)

部品製造メーカーA社



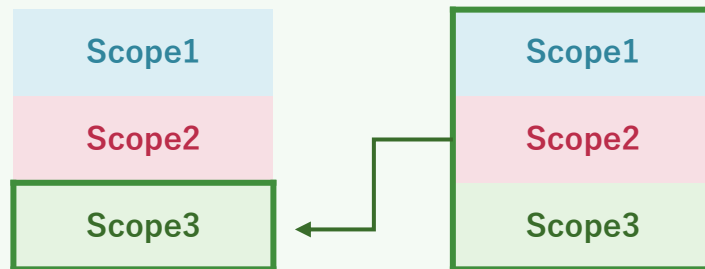
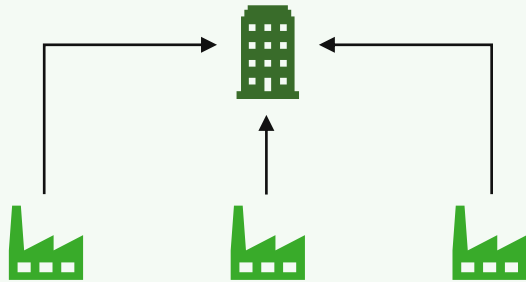
B社全体のエネルギー
使用量を入力

②-2 サプライチェーン連携

標準搭載

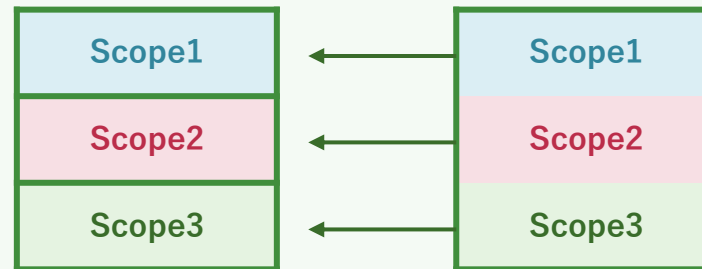
サプライチェーン連携機能は、サプライチェーンとの連携のみでなく事業所や企業グループ単位での集計が容易になります。

【1】 サプライチェーン



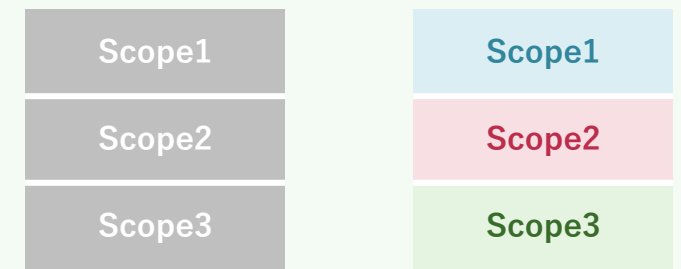
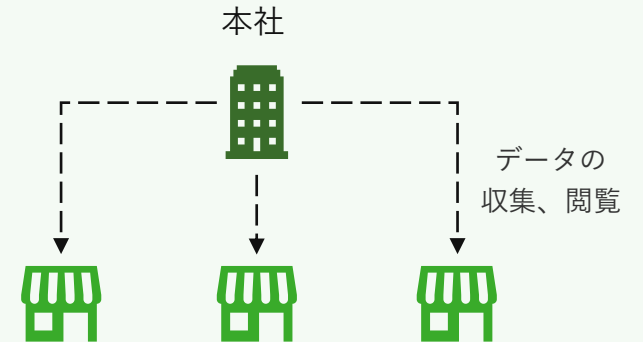
メーカーとして、サプライヤーの排出量を自社に取り込んで管理

【2】 事業所データの集計



本社として、各事業所の排出量を集計して全社のデータを管理

【3】 事業グループでの活用



脱炭素支援や金融支援のデータ収集ツールとしてのご活用

③ 製品別のCO2排出量(CFP)の可視化

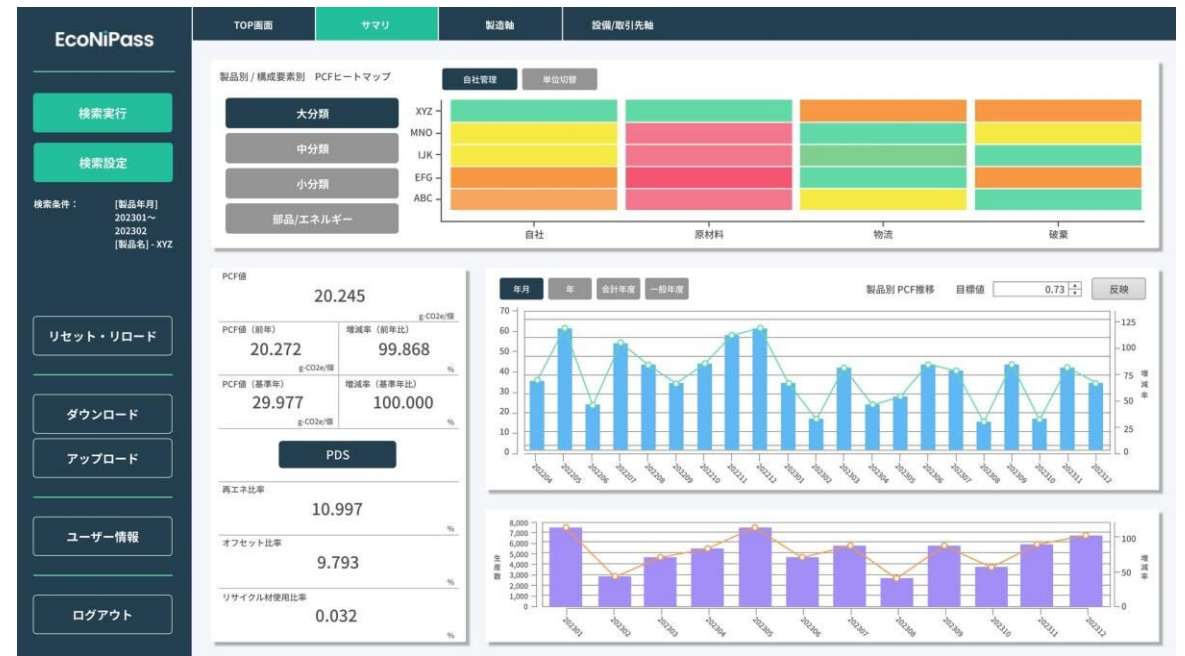
製品別のCO2排出可視化(CFP)

- LCA（ライフサイクル・アセスメント）の算出は、サプライチェーン全体での実測や情報連携が必要で、多くの企業にとって大きな負担（コスト、業務工数）となる見込みです。
- EcoNiPassでは**製品単位、製造ライン単位での可視化や詳細な分析が可能**で、**CO2排出量削減時の施策の検討が容易**になります。

CFP（カーボンフットプリント）

算出範囲	製品のライフサイクル
算出対象	Scope1,2,3
Scope3の算出方法	活動量 × 実測データ
実測データ	関連企業（上流）の実測値 ※Scope1,2,3(3のうちカテゴリ1,4,5)
算出内容	製品価値（=消費者向け）

EcoNiPassの可視化画面



④・⑤ 省エネ法対応・Web API

- 省エネ法やWeb API連携もオプション機能（有償）でご提供しています。

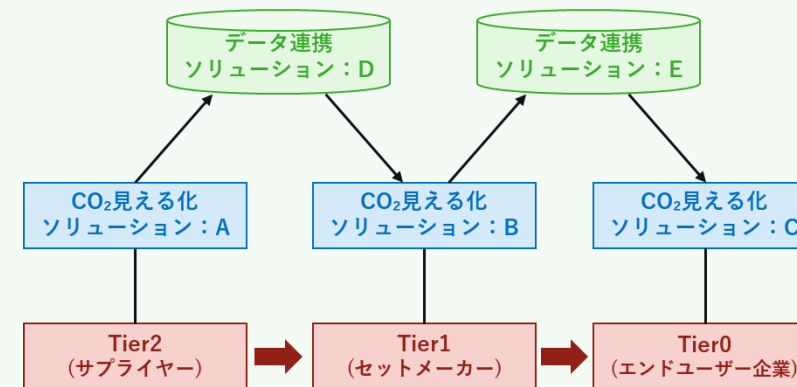
省エネ法対応

エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律、通称「省エネ法」は、一定規模以上の事業者に、エネルギーの使用状況等について定期的な報告と省エネや非化石転換等に関する取組の見直しや計画の策定等を行っていただく法律です。EcoNiPassは省エネ法に対応した活用も可能です。



Web API対応

Web APIを使用し、各測定器具と連携が可能です。計測機器からの一次データをEcoNiPassに直接投入することで、毎月の入力作業が不要になります。その他にも電力、ガスなど各種Web明細などのサービスとAPI連携するで、毎月のデータのインポートの手間が不要になります。



⑥SCOPE3算定サービス

SCOPE3算定方法について

EcoNiPassパートナーのBelieve Technology社のサービスを活用し、温対法に基づく算定・報告・公表制度や環境省サプライチェーン排出量ガイドライン、GHGプロトコルに基づき（**スコープ1.2.3**）を算定いたします。



Believe Technology

BelieveTechnology株式会社
提供サービス

Beliebe Technologyの提供サービス

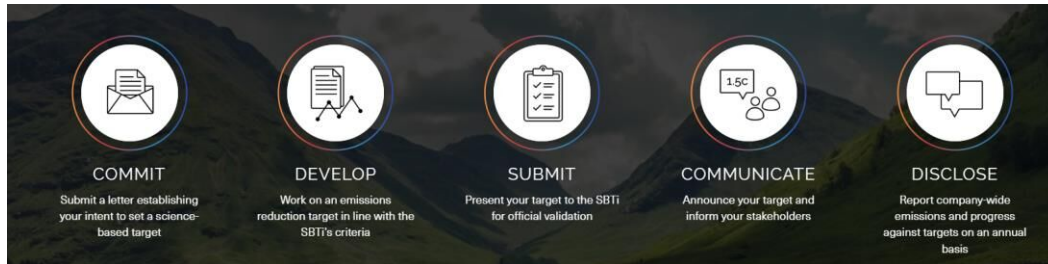


1. CO2排出量（スコープ1、スコープ2、スコープ3）の計算
2. 自然エネルギーを中心とした電力の販売
3. 自家消費・PPA等 太陽光発電設備の販売
4. 各種コンサルティング事業(LCA,CFP,TCFD,CDP,SBT)
5. その他インターネットを利用した各種サービスの企画、制作、販売、配信、運営及び管理

⑦SBTi認定支援サービス

SBTi認証サービス

専門家が伴走し分析/目標設定、資料作成支援、審査、開示/維持におけるプロセスを支援いたします。将来的にはEcoNiPassでドキュメントや目標設定ができるよう開発中。



出典：SBTi公式サイト
<https://sciencebasedtargets.org/>

- ハンズオン支援
- ハンズオン支援
- ハンズオン支援
- ハンズオン支援
- ハンズオン支援
- テンプレート提供
- 計算基礎提供
- 企業の行動に対するハンズオン支援
- コミュニケーション補助
- 計算根拠などのリソース提供

項目	中小企業向け	通常
対象	非子会社・独立系企業 10,000t-CO2/年以下に加え 250名以下 売上50百万ユーロ 総資産25百万ユーロ 森林・土地利用事業社などでない	特になし
目標年	2030年	申請から5年～10年（任意）
基準年	2018年～2023年（選択）	最新データが得られる年での設定を推奨
削減対象範囲	SCOPE1,2,3 SCOPE3は目標無し	SCOPE1,2,3 SCOPE3が4割を超えない場合設定無し
目標レベル	SCOPE1,2 1.5°C：少なくとも年4.2%削減	SCOPE1,2 1.5°C：少なくとも年4.2%削減 Well below 2°C：少なくとも年2.5%削減
SBT申請費用	1目標につき1,250 \$	目標妥当性確認サービス：9,500 \$ 目標再提出は、1回4,750 \$
承認までのプロセス	目標提出後、提出情報の内容確認ごに承認されSBTi Webサイトに掲載	目標提出後、事務局による審査が行われる

⑧脱炭素施策・ロードマップ作製



Green AI

月額：30,000円～



脱炭素化を事業強化の機会に

AIとデータによって、コスト削減/事業成長できる最適な脱炭素ロードマップを策定し、見える化の次「削減」を促進します。

AIがお客様のCO2排出状況と保有設備を元に脱炭素ロードマップを自動で作成します。

👉 投資対効果の良い施策をピックアップ

💬 施策の実施要件を質問形式で整理

💻 施策の実施規模入力だけで効果計算可能

削減施策が見つからない

コストを抑えて脱炭素化したい

人手が割けない

削減施策の数

700+

700個超の削減施策を用意しているため、効率の良い施策を漏れなく選べます。

コスト削減率

20%▼

投資対効果の高い施策をレコメンド。コストを平均20%減する計画を策定できます。※

学習時間・調査時間

0分

脱炭素ロードマップ策定に必要な脱炭素施策や策定方法などの調査時間を99%削減可能。

事業強化に繋がる脱炭素計画 作りと目的達成手法 (EcoNiPassの将来像)



脱炭素計画作りと目的達成ステップの全体像

Step① (現状把握)

Step② (削減施策決定)

Step③ (削減Sol優先度決定)

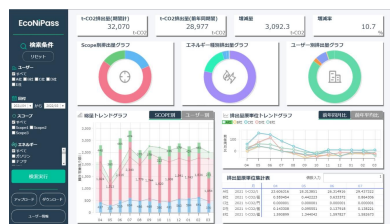
Step④ AP & 計画策定

生成AI活用

Green AI

コンサル

②削減施策決定



①EcoNiPassでの現状把握

目標決定
2013年度比〇〇%削減

調達・機器改善
(Solベンダーマッチング)

業務プロセス改善
(GreenAi優位)

SCIENCE BASED TARGETS TCFD
各種認証取得

③改善手法・認証取得決定

⑤アクションプラン策定

Monitoring dashboard with multiple tables and charts. The top table shows 'アクションプランモニタリング一覧' with columns for plan name, start/end dates, status, and priority. Below it are 'モニタリング内容' and 'アクションプラン' tables.

Financial impact simulation dashboard showing various data points and charts. It includes a table with columns for 'A' and 'B' categories, and a radar chart comparing different scenarios.

⑥財務インパクトシミュレーション

STEP①CO2排出量の算出・可視化

EcoNiPassの管理画面では、見たい情報を詳細検索が可能です。
排出源ごとや原単位ごとの排出量や、削減情報を細かく見える化できるようになっています。

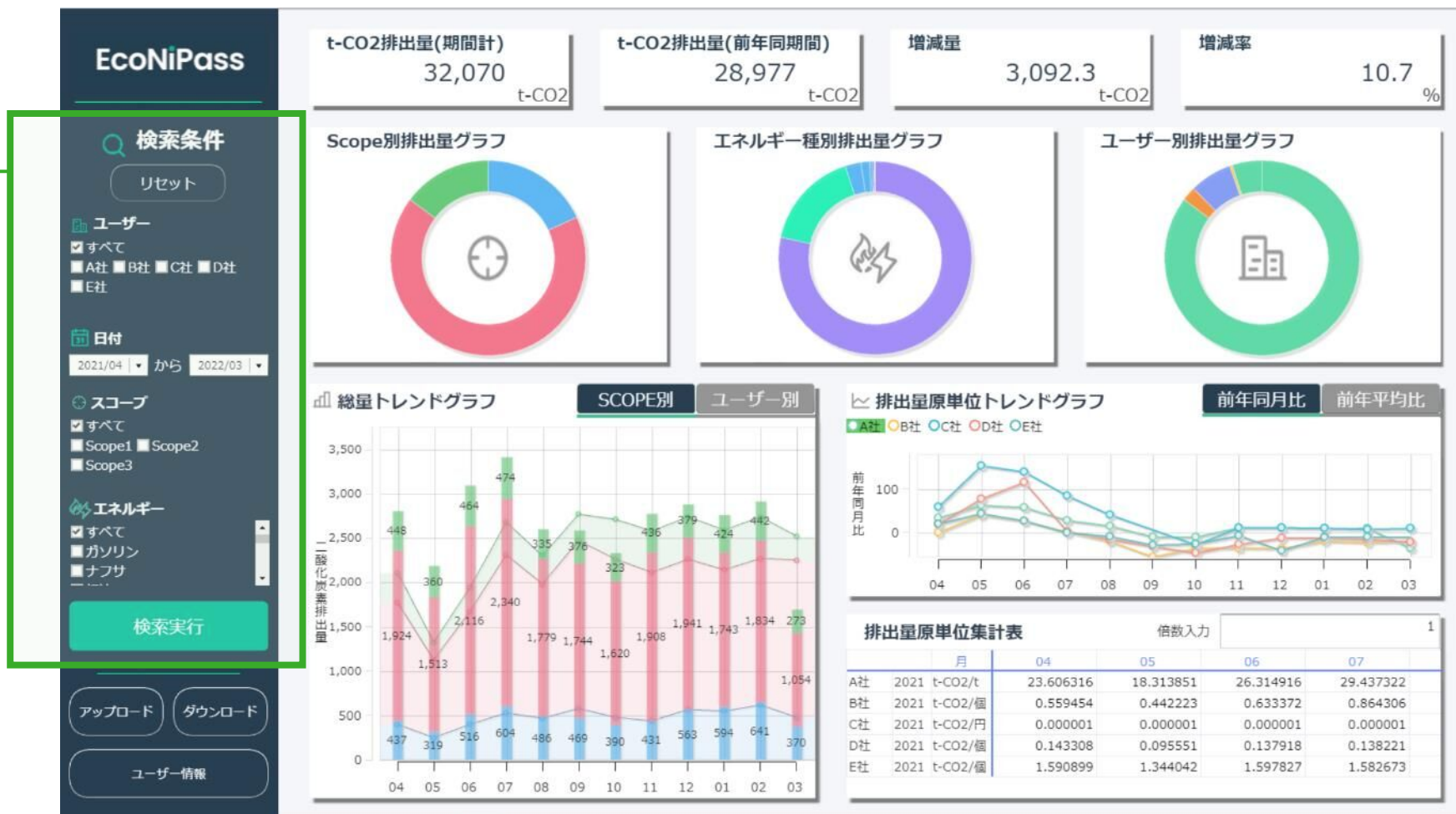
① 検索メニューで見たい情報が見える

ユーザー選択

期間指定

Scope選択

エネルギー選択



STEP②-1削減施策（GreenAi活用）

Green AI

- ホーム
- 基本情報管理
 - 会社情報管理
 - 拠点情報管理
 - メンバー管理
- GHGデータの入力
- 脱炭素計画策定**
 - 算定単位設定
 - GHG削減目標
 - GHG内訳入力
 - GHG削減施策の選択**
 - レポート出力
- モニタリング
 - ダッシュボード
 - 月別詳細脱炭素計画
 - 削減実績入力
- CFP削減
- アカウント設定

脱炭素計画策定

ホーム GHG削減目標 GHG内訳入力 **GHG削減施策選択** レポート出力

CO2排出量
コスト削減額
削減実績

削減率 0%

■ Scope1削減残量
 ■ Scope2削減残量
 ■ Scope3削減残量

GHG削減量詳細

Scope1+Scope2
46%削減まで残り
562 tCO2

100%削減まで残り
1250 tCO2

Scope1 **Scope2** Scope3

ホットスポットの選択 右側のボタンをクリックして削減を選択してください

Scope1				Scope2				Scope3			
排出量内訳	CO2排出量	削減率		排出量内訳	CO2排出量	削減率		排出量内訳	CO2排出量	削減率	
Scope1全体	650 tCO2	46%削減まで	100%削減まで	Scope2全体	600 tCO2	46%削減まで	100%削減まで	-	-	-	-
都市ガス給湯用	300 tCO2	46%削減まで	100%削減まで	電力空調/冷暖房用	288 tCO2	46%削減まで	100%削減まで	-	-	-	-
LNG発電用	200 tCO2	46%削減まで	100%削減まで	電力照明用	144 tCO2	46%削減まで	100%削減まで	-	-	-	-
揮発油自動車用	150 tCO2	46%削減まで	100%削減まで	電力OA機器用	96 tCO2	46%削減まで	100%削減まで	-	-	-	-

削減したい領域について削減施策のリスト候補を挙げられる

排出量が登録されていません。

STEP②-1削減施策（GreenAi活用）

脱炭素計画策定

ホーム GHG削減目標 GHG内訳入力 GHG削減施策選択 レポート出力

ダッシュボード > GHG削減施策の選択

GHG削減施策 Scope2全体

実施したい施策を選択してください。施策名にカーソルを合わせると、施策の概要を確認できます。

+ 施策を追加する

AIにおまかせ フィルター ソート

施策名	カテゴリ	事例数(企業種)	事例数(同業種)	便益原単位	投資回収年数	CO2削減量の規模	施策実行の簡単さ
太陽光発電の導入	運用改善	93	56	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	採用
再エネ由来電力/低炭素電力の購入	運用改善	88	51	★★★★☆	★ 回収不可	★★★★★ 調整可能	★★★★★ 採用
再エネ証書/非化石証書の購入	運用改善	22	11	★★★★★	★ 回収不可	★★★★★ 調整可能	★★★★★ 採用
受変電設備の更新	運用改善	11	10	★★★★☆	★★★★☆	☆☆☆☆☆	★★★★☆ 採用
太陽光発電のPPA(オンサイト)	運用改善	9	7	★★★★★ 初期投資なし	★★★★★ 初期投資なし	★★★★☆	★★★★☆ 採用
太陽光発電のPPA(オフサイト)	運用改善	9	7	★★★★☆		★★★★★ 調整可能	★★★★☆ 採用
リモートワークの導入	運用改善	8	4	★★★★★ 初期投資なし	★★★★★ 初期投資なし	☆☆☆☆☆	★★★★★ 採用

STEP②-2削減施策（コンサル活用）

データ収集・可視化・認証



CO2排出量の
算出・可視化



サプライチェーン
連携



製品別のCO2排出量
(CFP)の可視化



省エネ法対応



Web API公開予定



認証取得支援



削減コンサル・削減ソリューション

EcoNiPassエコパートナー
カーボンニュートラル削減に
向けたご相談

EcoNiPassパートナーが、CO2排出量の算出/可視化に関するご相談に加え、排出量の削減に向けたご相談を承ります。

STEP②-3各種認証制度取得

国際規格

ISO14001 : 2015(EMS)
(環境マネジメントシステム)

ISO14068-1:2023
(カーボンニュートラルに関する
国際規格)

ISO14001は企業活動における「環境側面」のマネジメントシステム。

ISO14068については2024年1月に世界で初めて、ヤマト運輸株式会社がBSIより本規格に基づいたカーボンニュートラルの検証を受け、主要商品である宅急便や宅急便コンパクト等について、第三者検証意見書を取得している。

EMS認証取得事業者については、いわゆる「経診」や地方公共団体入札における加点などの措置あり。

国際認証

SBT認証
(SBTイニシアティブへの加盟)

WWF、CDP、世界資源研究所(WRI)、国連グローバル・コンパクトによる共同イニシアティブ。

「コミットメント(宣言)」に始まり、継続して測定、報告を行う。

※中小企業版については一部省略可能な事項あり



SBT認証事業者については、地方公共団体入札における加点のほか、「ものづくり補助金 ※」における上限額の向上(最大4000万円)、日本政策金融公庫における優遇金利商品などがある。

国内制度

GXリーグ
(経済産業省)

基本構想として、

①企業が世界に貢献するためのリーダーシップのありかたを示す。

②GXとイノベーションを両立し、いち早く以降の挑戦・実践をした者が、生活者に選ばれ、適切に「設ける」構造を作る。

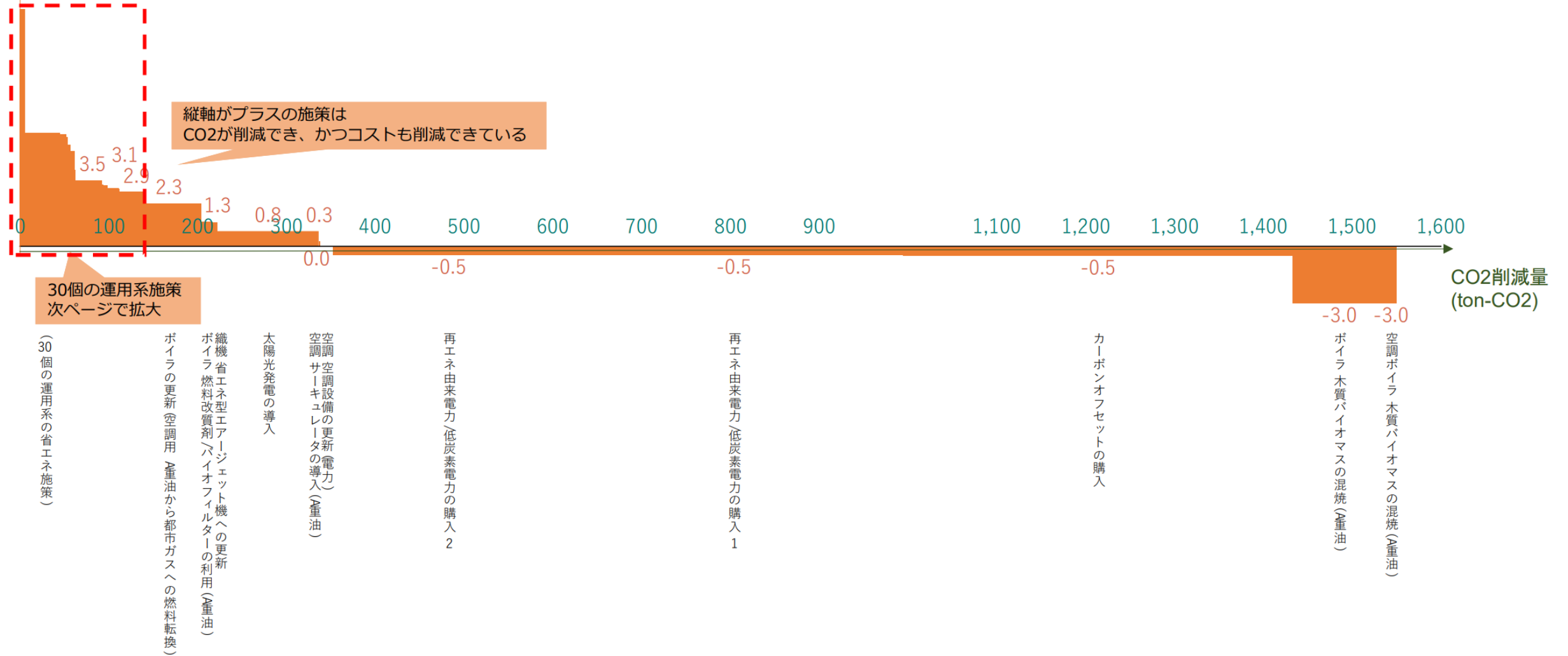
③企業のGX投資が、金融市場、労働市場、市民社会から応援される仕組みを作る。



GXリーグ加盟事業者については、「ものづくり補助金 ※」における加点、今後「GX推進法」に基づく金融支援や排出量取引制度などが実施される。

STEP③削減施策の優先順位決定

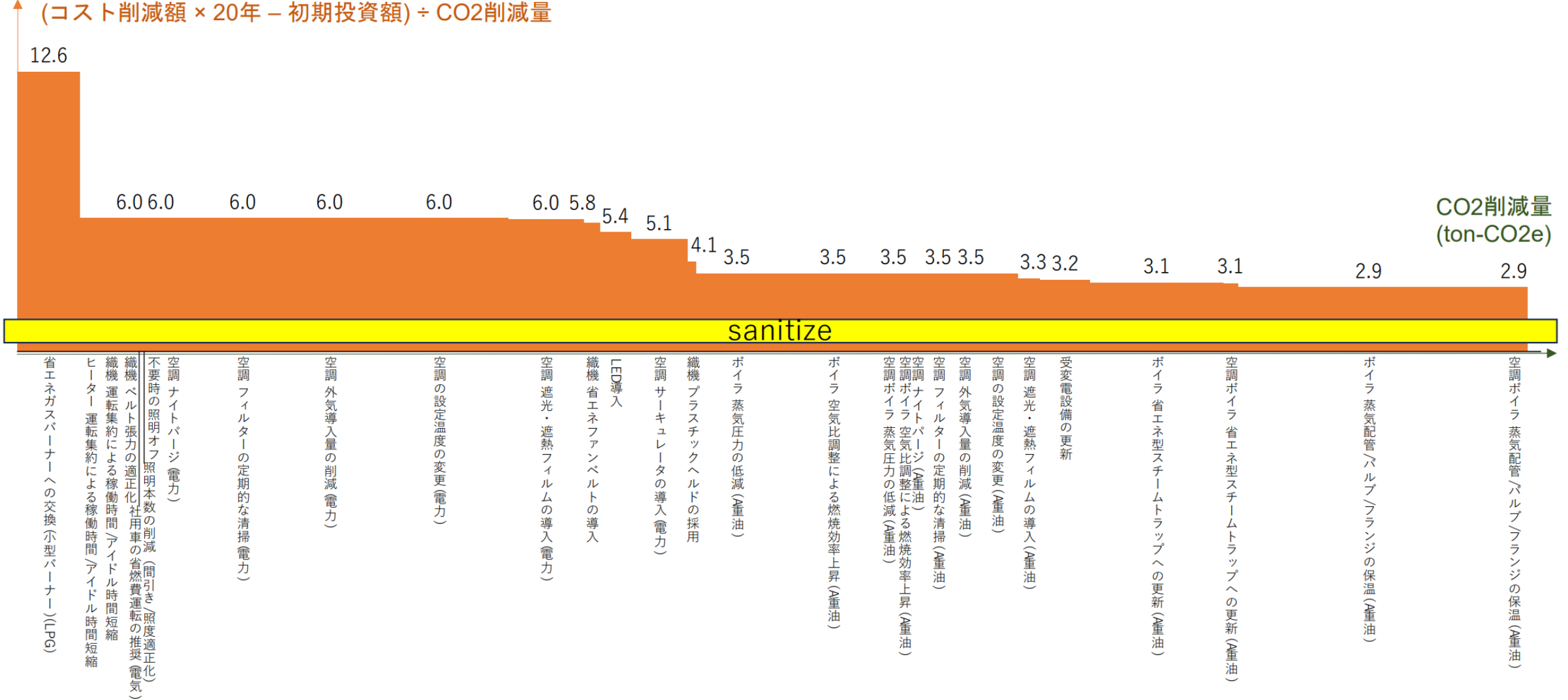
経済収支÷CO2削減量(万円/ton-CO2)
(コスト削減額 × 20年 - 初期投資額) ÷ CO2削減量



STEP③削減施策の優先順位決定

経済収支÷CO2削減量(万円/ton-CO2e)

(コスト削減額 × 20年 - 初期投資額) ÷ CO2削減量



sanitize

STEP④削減計画策定

■アクションプランモニタリング一覧

詳細確認/データ更新

計画ID	アクションカテゴリ	目的	具体的行動	担当責任者	いつ	指標値	指標値単位	進捗報告タイミング	終了予定日	継続改善	文書/データ
1-1-1	売上拡大	事業規模を拡大する	新規取引先10件の開拓	営業部長	2024/04/01	10	件	月次	2025/03/31		成約報告
1-2-1	売上拡大	適正な料金体系を構築する	赤字取引先5社の解消	社長	2024/04/01	5	件	月次	2024/09/30		改定料金表
2-1-1	赤字解消	売上総利益を拡大する	赤字取引先5社以外の値上げ	営業部長	2024/04/01	3	%	4半期毎	2025/03/31		試算表
2-2-1	赤字解消	営業利益を確保する	販管費の無駄を削減する	経理部長	2024/04/01	-5	%	月次	2025/03/31		月次予算管理表
3-1-1	生産性向上	荷出し作業の無駄をなくす	倉庫内の所定場所以外への保管を禁止する	在庫管理部長	2024/04/01	0	個	随時参照	2024/06/30		倉庫内の写真
4-1-1	労働環境	従業員の働きやすさを向上させる	利用頻度の低い会議室を改装し休憩スペースを設置する	人事総務部長	2024/04/01	1	室	随時参照	2024/05/31		工事進捗報告
4-2-1	労働環境	総労働時間を削減する	タイムカードを導入する	人事総務部長	2024/04/01	5	%	最低月次	2025/03/31		

■モニタリング内容

データ更新

計画ID	報告日	報告者	目標達成状況	評価	コメント	関連文書	第三者コメント
1-2-1	2024/06/07	TEST	TEST	3	test		
1-1-1	2024/06/07	中村	テスト	1	hogehoge	あり	
1-1-1	2023/10/05	dejiren追加	dejiren追加	1			dejirenからの更新
2-2-1	2024/04/05	てすと	てすと	3	てすと	あり	
2-1-1	2024/04/05	TEST	TEST	5	10	あり	
4-1-1	2024/04/05	藤田	あ	3	1234		
1-1-1	2023/11/20	藤田	テスト	4	テスト	あり	dejirenからの更新
1-1-1	2023/10/05	dejiren入力	dejiren入力	1			
2-1-1	2024/01/11	test	test	3			テスト
5-1-1	2023/10/04	テスト	テスト	1			
6-1-1	2023/10/04	テスト	テスト	1			
5-2-1	2023/10/04	TEST				あり	
4-1-1	2023/10/04	テスト	テスト	2			
6-1-1	2023/10/04	テスト	テスト	1			
1-1-1	2023/09/28	中村TEST	達成	2	2024年4月より人件費UP相当の日額1,500円UPLして頂いた。		更新テスト
1-1-1	2024/09/05	江上	営業3名、各10社の新規見込みをリストアップし訪問を完了。目標回数は未達。	3	2回目訪問で折れる社員もあり、ケアの必要性を感じる。3回目訪問で打ち解ける場合もあり判断が難しい。	あり	今は結果を問わず、実行で評価してあげてください(は愚痴も)の共有の場を設けてはいいかが出ようか。

STEP④財務インパクトシミュレーション

ランク (最新年度)	売上 (最新年度)	営業利益 (最新年度)	債務償還年数 (最新年度)
A	1,026,650 千円	68,121 千円	3.7 年

■財務分析情報 ※金額は千円単位 (事業場内最低賃金は円単位)

	2022/03/31	2023/03/31	2024/03/31
売上高	926,000	975,000	1,026,650
売上高_内運送売上高	926,000	975,000	1,026,650
売上総利益	267,000	281,000	295,680
営業利益	62,000	65,000	68,121
減価償却費	60,000	63,000	66,500
経常利益	58,000	61,000	64,361
現金・預金	143,000	150,000	158,390
受取手形	89,000	94,000	98,580
売掛金	0	0	0
棚卸資産	0	0	0
負債合計	498,000	524,000	551,180
支払手形	22,000	23,000	24,010
買掛金	27,000	28,000	29,520
借入金	439,000	462,000	486,200
修繕費	10,000	10,000	10,400
燃料費	287,000	302,000	318,400
高速代 (車両費)	28,000	29,000	30,800
事業場内最低賃金	1,048	1,081	1,114
純資産合計	65,000	72,000	82,600

■算出指標

	2022/03/31	2023/03/31	2024/03/31
売上増加率	5.2%	5.3%	5.3%
売上増加率_基準値 (中央値)	2.4%	2.4%	2.4%
営業利益率	6.7%	6.7%	6.6%
営業利益率_基準値 (中央値)	1.3%	1.3%	1.3%
一人当たり営業利益	1,937.5(千円)	2,096.8(千円)	2,270.7(千円)
一人当たり営業利益_基準値 (中央値)	208.0(千円)	208.0(千円)	208.0(千円)
EBITDA有利子負債倍率	2.4(倍)	2.4(倍)	2.4(倍)
EBITDA有利子負債倍率_基準値 (中央値)	6.8(倍)	6.8(倍)	6.8(倍)
営業運転資本回転期間	0.5(ヶ月)	0.5(ヶ月)	0.5(ヶ月)
営業運転資本回転期間_基準値 (中央値)	1.0(ヶ月)	1.0(ヶ月)	1.0(ヶ月)
自己資本比率	11.5%	12.1%	13.0%
自己資本比率_基準値 (中央値)	13.3%	13.3%	13.3%

■債務償還年数 ※金額は千円単位 (債務償還年数は年)

年度日付	2022/03/31	2023/03/31	2024/03/31
経常利益	58,000	61,000	64,361
減価償却費	60,000	63,000	66,500
償還原資	118,000	124,000	130,861
借入金	439,000	462,000	486,200
債務償還年数	3.7	3.7	3.7

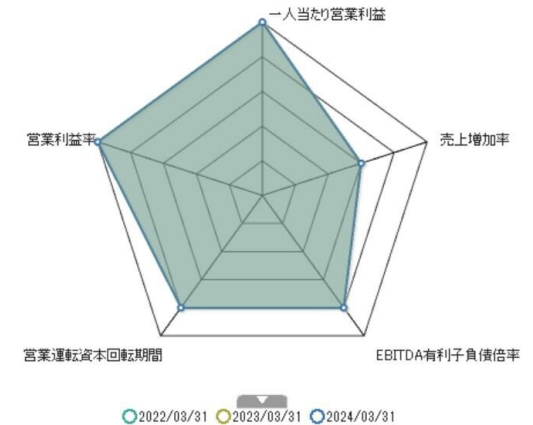
※債務償還年数 = 借入金 / 償還原資
償還原資 = 経常利益 + 減価償却費

	2022/03/31	2023/03/31	2024/03/31
ランク値	A	A	A

売上増加率	3	3	3
営業利益率	5	5	5
一人当たり営業利益	5	5	5
EBITDA有利子負債倍率	4	4	4
営業運転資本回転期間	4	4	4
自己資本比率	3	3	3
総合計	24	24	24

※総合評価値のランクはA : 24点以上、B : 18点以上24点未満、C : 12点以上18点未満、D : 12点未満

[詳細情報](#)



サプライチェーンの想いをつなぎ
ともに未来を織りなしていく

EcoNiPass